

エコアクション 21



環境活動レポート

令和5年度

対象期間：令和5年7月～令和6年6月



株式会社 マルミ吉住組

発行日 ： 令和6年9月1日

目 次

1. 組 織 の 概 要
2. 認 証 ・ 登 録 の 対 象 組 織 ・ 活 動
3. 環 境 方 針
4. 環 境 目 標 及 び 実 績
5. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無
7. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

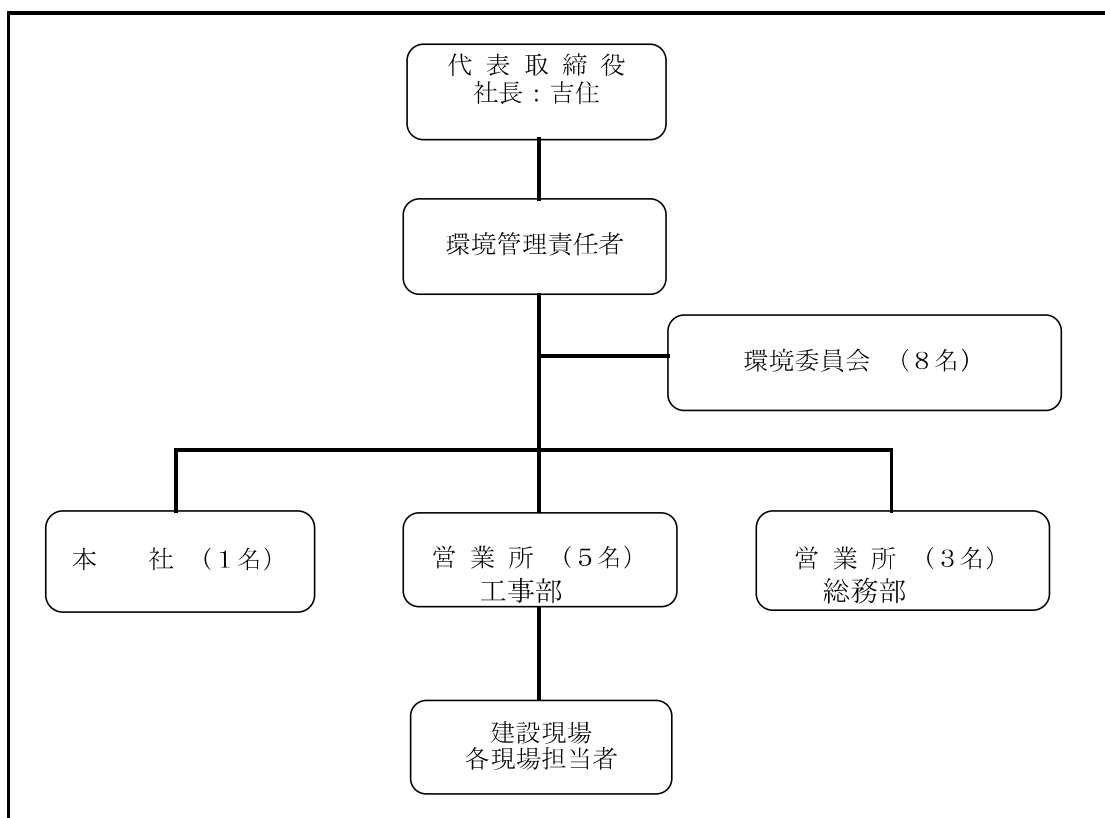
1. 組織の概要

(1) 事業者名 代表者氏名	株式会社 マルミ 吉住組 代表取締役 吉住 成年																												
(2) 所在地	本 社 〒812-0002 福岡県福岡市博多区空港前5丁目3番21号 志免営業所 〒811-2207 福岡県糟屋郡志免町南里1丁目11番15号 資材置場 〒811-2204 福岡県糟屋郡志免町田富高園131番3																												
(3) 環境管理責任者 担当者、連絡先	責任者 工事部 吉住(環責)	T E L 092-611-0301 F A X 092-611-0305																											
	担当者 総務部 中園	T E L 092-935-1549 F A X 092-935-2577																											
(4) 事業内容	建設業の許可番号：許可(特-3)第31649号 産業廃棄物収集運搬業許可番号：0400010664 建設業(土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業)																												
(5) 事業の規模	R 5 年度売上高 426百万 <table><tr><td></td><td>単位</td><td>本社</td><td>営業所</td><td>資材置場</td></tr><tr><td>従業員数</td><td>人</td><td>1</td><td>8</td><td>0</td></tr><tr><td>事務所床面積</td><td>m 2</td><td>42</td><td>135</td><td>0</td></tr><tr><td>倉庫駐車場</td><td>m 2</td><td>12</td><td>1470</td><td>0</td></tr><tr><td>敷地面積</td><td>m 2</td><td>54</td><td>1605</td><td>562</td></tr></table>					単位	本社	営業所	資材置場	従業員数	人	1	8	0	事務所床面積	m 2	42	135	0	倉庫駐車場	m 2	12	1470	0	敷地面積	m 2	54	1605	562
	単位	本社	営業所	資材置場																									
従業員数	人	1	8	0																									
事務所床面積	m 2	42	135	0																									
倉庫駐車場	m 2	12	1470	0																									
敷地面積	m 2	54	1605	562																									
(6) 事業年度	7 月～翌年 6 月																												

2. 認証・登録の対象組織・活動

(1) 対象事業所	本社 志免営業所 資材置場
(2) 事業活動	建設業 土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

実施体制図



役割分担

所 属	役割 ・ 責任 ・ 権限
社 長	・ 環境経営全般について責任と権限を持つ ・ 環境方針を作成、見直し、従業員に周知する ・ 環境管理責任者、環境委員会、担当者を任命する ・ 取組状況に関し評価、見直しを実施する(年1回)
環境管理責任者	・ 環境経営システムを構築し、実行し、環境実績を向上させる ・ 運用状況を社長に報告する ・ 環境委員会の招集(年2回) ・ 環境活動計画の実行状況確認及び見直し
環境委員会	・ 環境管理責任者を補佐 ・ 環境目標達成状況及び環境活動計画の実行状況を審議する(年2回) ・ 環境活動の企画立案・広報活動を行う ・ 文書及び記録類、基礎データの作成、維持、集計、管理を行う ・ 是正処置, 見直しの検討(年2回)
営業所 総務部門長	・ 関連文書の管理 ・ データの収集と数値の管理 ・ 環境記録の作成
工 事 部 部門長	・ 作業現場の全体的管理 ・ 現場社員への環境活動の周知、徹底 ・ データの収集と数値管理 ・ 社外からの環境情報の収集と伝達
各 部門長	・ 各部門において環境目標達成に向けた取り組みを実施する ・ 各現場においてエコアクションの取り組みを協力業者へ周知し、教育訓練を行なう ・ 環境負荷及び取り組みの確認・管理及びデータの収集と数値管理を行なう ・ 倉庫・車庫及び資材置場等の管理を行なう
全従業員(9名)	・ 環境方針を遵守し自主的、積極的に環境活動に参加する

環 境 方 針

《 理 念 》

当社は、土木建設業の事業活動における環境への影響を深く認識し
有限である資源の有効活用を重要課題とし、環境負荷の低減に取り組み
循環型社会形成推進に努め、人と自然が調和する社会を目指し
全社員が、自主的に且つ積極的・継続的に環境保全活動に取り組み改善していきます。

《 環境活動指針 》

1. 次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
 - (1) 電気及びガソリン、軽油等の燃料使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 一般廃棄物、産業廃棄物（建設廃棄物）のリサイクル率の向上を図る
 - (3) 節水活動による水の使用量削減
 - (4) 化学物質の管理
 - (5) 課題とチャンス را把握し方針に反映する。
 - (6) 環境に配慮した建設工事の推進を行う。
2. 事業活動において適用される環境関連法規を遵守します。
3. 環境方針を従業員全員に周知し、環境保全の知識を深め意識の向上を図ります。
4. 地域貢献活動の推進

事業所や各現場における周辺の清掃活動等の社会貢献活動を通じて地域環境の改善を推進します。

制定日：平成24年10月 1日
改定日：令和 6年 6月30日
株式会社 マルミ吉住組
代表取締役 吉住 成年

4-1. 環境目標（5か年）

環 境 目 標	サイト 区分	単位	H30～R3年度	目 標 値					
			からの設定	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
			基準値						
1 二酸化炭素排出量の削減				4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	8%削減	
	全体	kg-CO ₂	94,190	90,422	89,480	88,538	87,597	86,655	
	事務所		17,186	16,498	16,326	16,154	15,983	15,811	
	建設現場		77,004	73,924	73,154	72,384	71,614	70,844	
	①電気使用量の削減		kWh		4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	8%削減
	全体	39,080		37,516	37,126	36,735	36,344	35,953	
	事務所	25,700		24,672	24,415	24,158	23,901	23,644	
	建設現場	13,380		12,844	12,711	12,577	12,443	12,309	
	②燃料使用量の削減 （ ガ ソ リ ン ）		ℓ		4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	8%削減
	全体	9,900		9,504	9,405	9,306	9,207	9,108	
	事務所	2,100		2,016	1,995	1,974	1,953	1,932	
	建設現場	7,800	7,488	7,410	7,332	7,254	7,176		
	③燃料使用量の削減 （ 軽 油 ）		ℓ						
	建設現場	20,000		19,200	19,000	18,800	18,600	18,400	
	2 廃棄物搬出量の削減								
①一般廃棄物の削減	事務所	%	年間処理量の 9 5 % 以上	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	
②産業廃棄物の再資源化	建設現場	%	年間処理量の 9 5 % 以上	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	95%以上維持	
3 水使用量の削減 （節水活動推進）		—							
事務所	節水活動		節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	
建設現場	節水活動		節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	
4 化学物質の管理	建設現場	有無	P R T R 含有有無	P R T R 含有有無	P R T R 含有有無	P R T R 含有有無	P R T R 含有有無	P R T R 含有有無	
5 課題とチャンスを 把握し方針に反映		回	会議						
全体	毎月1回		12	12	12	12	12		
	年/12回								
6 環境保全活動の実施									
①（事務所）教育訓練の実施 （現場）騒音・振動・埃等 に配慮した工事を行う （クレーム発生率）		回							
事務所	3ヶ月1回		4	4	4	4	4		
建設現場	苦情/工事件数 %		建設現場件数 25	建設現場件数 25	建設現場件数 25	建設現場件数 25	建設現場件数 25		
②地域貢献活動 （周辺清掃）		回							
事務所	随時		随時	随時	随時	随時	随時		
建設現場	3ヶ月毎		3ヶ月毎	3ヶ月毎	3ヶ月毎	3ヶ月毎	3ヶ月毎		

※購入電力の排出係数は、0.479 kg-CO₂/kWh（R2年度九州電力調整後排出係数）を使用しました。

4-2. 環境目標及び実績

当社の環境目標及び令和5年度の環境目標に対する実績は次の通りです

環 境 目 標	サイト 区分	単位	H30～R3年度 からの設定 基準値	単年度目標と実績			次年度目標	
				令和5年度	実 績		令和6年度	
				目標値	実績値	達成状況		
1 二酸化炭素排出量の削減				基準値3%削減			4%削減	
	全体	kg-CO ₂	94,190	91,364	64,638	○	90,422	
	事務所		17,186	16,670	11,122	○	16,498	
	建設現場		77,004	74,694	53,516	○	73,924	
	①電気使用量の削減			基準値3%削減			4%削減	
	全体	kWh	39,080	37,907	19,322	○	37,516	
	事務所		25,700	24,929	18,955	○	24,672	
	建設現場		13,380	12,978	367	○	12,844	
	②燃料使用量の削減 (ガ ソ リ ン)			基準値3%削減			4%削減	
	全体	ℓ	9,900	9,603	7,760	○	9,504	
	事務所		2,100	2,037	880	○	2,016	
	建設現場		7,800	7,566	6,880	○	7,488	
	③燃料使用量の削減 (軽 油)							
		ℓ						
				基準値3%削減			4%削減	
	建設現場		20,000	19,400	14,239	○	19,200	
2 廃棄物搬出量の削減								
	①一般廃棄物の削減	事務所	% 年間処理量の 95%以上	95%以上維持	95%以上維持		95%以上維持	
					○			
	②産業廃棄物の再資源化	建設現場	% 年間処理量の 95%以上	95%以上維持	95%以上維持		95%以上維持	
						○		
3 水使用量の削減 (節水活動推進)		m3						
	事務所		節水活動	節水活動	47	○	節水活動	
	建設現場		節水活動	節水活動	0	○	節水活動	
4 化学物質の管理	建設現場	k g	PRTR含有有無	PRTR有無	1	PRTR使用無○	P R T R 含有有無	
5 課題とチャンス を 把握し方針に反映	全体	回	会議	会議	会議	○	会議	
			年12	年12	年12		年12	
6 環境保全活動の実施								
	①(事務所)教育訓練の実施							
	①(現場)騒音・振動・埃等 に配慮した工事を行う (クレーム発生率)	事務所	回	3ヶ月1回	4	4	○	4
		建設現場	苦情/工事件数			1/27件		建設現場件数
			%	25	25	4	○	25
	②地域貢献活動 (周辺清掃)	事務所	回	随時	随時	随時	○	随時
	建設現場	3ヶ月毎		3ヶ月毎	3ヶ月毎	○	3ヶ月毎	

※購入電力の排出係数は、0.479 kg-CO₂/kWh (九州電力調整後排出係数R2年度)を使用しました。

5. 環境活動計画及びその取組結果と評価並びに次年度の取組内容

1. 二酸化炭素排出量の削減

その1

目 標	達成 状況	活 動 項 目	実施 状況	評価並びに次年度取組内容
事務所	○	エアコン設定温度を決め実行する	○	電気使用量の数値目標も達成。今後も継続
		昼休み及び不必要な照明の消灯	○	
		パソコンの電源を離席時や退社時・休日は切る	○	
	○	暖機運転・アイドリングストップ	○	エコ運転励行。 励行されている。今後も継続 使用量の数値目標も達成。
		急発進・急加速の抑制	○	
建設現場	○	エアコン設定温度を決め実行する	○	励行されている。 励行されている。今後も継続 励行されている。
		昼休み及び不必要な照明の消灯	○	
		パソコンの電源を離席時や退社時・休日は切る	○	
	×	暖機運転・アイドリングストップ	○	励行されている。今後も継続 今後も継続推進する 励行
		エコドライブ10のすすめの励行	○	
		遠方の現場乗り合わせ通勤	○	
	○	重機車両の効率的な運転を決め実行する	○	エコ運転励行、今後も継続 リース機はエコタイプ積極使用 使用量の数値目標は達成。
		低騒音・低振動対応型リース機械・車両使用	○	

2. 廃棄物排出量の削減

事務所	○	作成書類の見直しによる印刷物の削減	○	励行されている。継続
		ミスコピー用紙の使用可能ペーパーの裏紙再利用の推進	○	リサイクル推進
		燃やせるゴミ、その他の不燃ゴミの分別を徹底	○	励行、今後も継続
建設現場	○	作成書類の見直しによる印刷物の削減	○	励行。継続
		ミスコピー用紙の使用可能ペーパーの裏紙再利用の推進	○	有効利用励行。今後も継続
		燃やせるゴミ、その他の不燃ゴミの分別を徹底	○	適正に処理実施されている。
	○	分別の徹底及び各現場単位でのマニフェストによる適正処理	○	遵守されている
		循環資源・建設発生土のリサイクル率アップ	○	ほぼ100%リサイクル推進
		残余資機材のリユース・リサイクルの推進	○	励行、今後も継続

3. 水使用の節水による削減

事務所	○	節水シールの表示やポスター掲示による意識高揚	○	今後も継続
		洗い物、掃除による無駄な流水の禁止	○	励行している。今後も継続
建設現場	○	節水シールの表示やポスター掲示による意識高揚	○	継続
		無駄な流水の禁止	○	事務所水道よりタンク運搬、無駄な流水なし

実施状況： ○実施 ×実施できなかった ー判定できない、該当しない

その2

目 標		評価	活 動 項 目	実施 状況	評価並びに次年度取組内容
4. 化学物質の管理					
建設現場		○	含有化学物質含有の管理	○	PRTR含有使用なし
5. 課題とチャンス把握し方針に反映					
事務所	毎月会議の実施	○	外部対象：発注者、社会状況、自然環境、外注先、資材購入 内部対象：入札制度変化の対応、資源（人材・インフラ）、外注先、資材購入	○	実施されている。活動内容今後も継続
建設現場	毎月会議の実施	○	機会：受注機会の増加、力量・知識の向上、利害関係者からの評価 リスク：受注減少、施工ミス、事故・自然災害、トラブル、遵守違反、資源	○	実施している。活動内容継続
6. 環境保全活動の推進					
事務所	教育・訓練の実施	○	環境方針・目標・活動計画の周知 緊急事態対応への訓練	○	実施している。活動内容継続
	地域貢献活動	○	地域での環境活動に積極的に参加する 地域防災活動に積極的参加	○	実施している。活動内容継続
建設現場	騒音振動・埃等に配慮した工事	○	環境方針・目標・活動計画の周知 緊急事態対応への訓練の実施 クレーム発生予防措置対策教育	○	現状の取組内容で活動継続 訓練1現場で実施、問題なし 苦情1件
	地域貢献活動	○	地域での環境活動に積極的に参加する。 現場周辺の清掃等の自主活動・巡回時の美化活動。行政機関主体の環境保全活動への参加	○	地域清掃参加 各建設現場で周辺清掃実施

実施状況： ○実施 ×実施できなかった ―判定できない、該当しない

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次の通りです。

適用される法規制等	適用される事項（施設・物質・活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出 マニフェスト（管理票）の交付・回収・保管の適正処理 管理票交付状況報告書の確認	遵守
建設リサイクル法	建設4品目の分別解体と再資源化	遵守
騒音規制法	建設現場での機械使用時に適用（85dB以下） 特定建設作業の届出	遵守
振動規制法	建設現場での機械使用時に適用（75dB以下） 特定建設作業の届出	遵守
水質汚濁防止法	薬液注入工法に係る排水等の処理 薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針及び 施工管理等についての規定に従う	遵守
フロン排出抑制法	機器の簡易点検3ヶ月に1回実施 点検整備、記録の保存 フロン類の漏えい措置及び報告	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん（石綿）排出に伴う届出 工事実施前の調査記録と説明 特定工事を施工する時は作業基準を遵守する	なし

(2) 環境関連法規等の遵守状況、訴訟の有無

※ 環境関連法規等の違反はありません。

※ 関係機関からの指摘及び地域からの訴訟等もありません。

（遵守確認日：令和6年6月30日）

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

【評価】

環境への取組について

水の使用量は過去3年間は前年度を下回ったのに、今年度の使用料は多少増えましたが、これは受注工事内容による変動でやむを得ないかと思う。それ以外の項目については削減目標をほぼ達成した。
取組状況も問題ないので、今後も現状を維持推進していく。

環境経営システムの有効性について

環境方針や環境活動計画についての見直しはなく
今後も維持継続していく。
また、環境へ配慮した取り組みも積極的に推進していく。

【見直し】

全体の見直し

顧客の要求の変化に合わせ、品質・コスト・納期の継続的改善に努め
弊社の資金力の中で出来る限りの努力をしつつ環境経営に取り組んでいく。

【指示】

建設現場における騒音低減に積極的に取り組むこと

【環境配慮実施状況】

(建設現場)

簡易的騒音対策（吸音パネル）



※地域への貢献

騒音軽減



【環境配慮実施状況】 (建設現場)

※地域への貢献

AED救護用具の配備



AED救護用具の配備



現場周辺の地域への調和一人一花運動の実施



※安全衛生関係

入坑管理表の設置



※安全衛生関係

ソーラー式規制電光看板の使用



移動式安全掲示板の設置



歩行者マットの設置 (歩行者の安全対策)



※安全衛生関係

充電式バルーンナイター照明の使用



音声案内機及びコーンサインの設置



車載仮設トイレ用の使用



作業員休憩所の快適化

洗濯機



水洗トイレ



※安全衛生関係

作業員休憩所の快適化

シャワー室



風呂



エアコンの設置



工事用看板保護カバー



※安全衛生関係

トイレ用消臭剤（消臭の菌さん）



※施工関係

地中磁気探査の使用



※施工関係

粉塵抑制対策(集塵機・粉塵抑制シート)の使用

粉塵抑制シート



集塵機



舗装カッター(低騒音ブレード)の使用

三層静音ブレード



※品質関係

裏込め材(モルタル)の圧縮強度試験



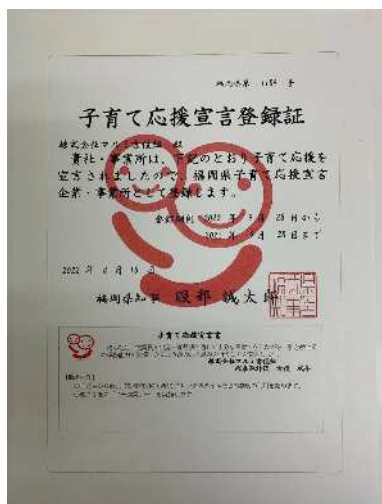
Well-being&SDGs登録証



SDGs宣言書



子育て応援宣言登録証



更生保護事業

